

報告事項

1. 平成 25 年度事業報告

一般社団法人日本腎臓学会 平成 25 年度事業概要報告

1. 学術集会の開催

◎第 56 回日本腎臓学会学術総会

総会長：富野康日己 順天堂大学大学院医学研究科 腎臓内科学 教授
会 期：平成 25 年 5 月 10 日（金）～12 日（日）
会 場：東京都 東京国際フォーラム
テーマ：「腎臓病学の国際化と地域化～仁をもって対峙する～」
参加者：5,513 名

○第 43 回日本腎臓学会東部学術大会

大会長：木村健二郎 聖マリアンナ医科大学 腎臓高血圧内科 教授
会 期：平成 25 年 10 月 4 日（金）・5 日（土）
会 場：東京都 グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール
テーマ：「症例から学ぶ腎臓学」
参加者：1,662 名

○第 43 回日本腎臓学会西部学術大会

大会長：横山 雅好 愛媛大学大学院医学系研究科 泌尿器制御学分野 教授
会 期：平成 25 年 10 月 11 日（金）・12 日（土）
会 場：松山市 松山全日空ホテル
テーマ：「加齢と腎」
参加者：977 名

2. 出版事業

- 1) 学会誌：日本腎臓学会誌の発行（年 8 号）
：Clinical and Experimental Nephrology の発行（年 6 号）
：CEN Case Reports の発刊（年 2 号）
- 2) 「エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2013」発刊、英訳ダイジェスト版の作成作業中
- 3) 「慢性腎臓病に対する食事療法基準」の作成作業中
- 4) 「血尿診断ガイドライン 2013」発刊、英訳版の作成作業中
- 5) 「腎疾患患者の妊娠—診療の手引き改訂版」の作成作業中
- 6) 「腎生検病理アトラス」の英文化・電子化の作成作業中
- 7) 「がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン」の作成作業中
- 8) 「KDIGO ガイドライン日本語全訳版」の作成作業中
- 9) 「ヨード腎障害におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン英訳版」発刊
- 10) 「非典型溶血性尿毒症症候群診断基準」および英訳版作成終了

3. 腎疾患に関する調査・研究

1) 厚生労働省

- ①難治性疾患克服研究事業「進行性腎障害調査研究」 平成 23～25 年度
 - ・IgA 腎症分科会
 - ・急速進行性糸球体腎炎分科会
 - ・難治性ネフローゼ症候群分科会
 - ・多発性嚢胞腎分科会
 - ・疫学・疾患登録分科会
 - ・診療ガイドライン作成分科会
 - ・生体資料活用分科会
 - ・病因・病態解明分科会

- ②CKD の早期発見、予防、治療標準化、進展阻止に関する調査研究
- ③糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発
- ④CKD 進展予防のための特定健診と特定保健指導のあり方に関する研究
- ⑤慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のあり方に関する研究
- ⑥特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病(CKD)地域連携システムの制度設計
- ⑦腎疾患重症化予防実践事業(委託事業):「中部・近畿地方ブロック」および「中国・四国・九州地方ブロック」
- 2) FROM-J2:「かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムを検討する研究」の継続(平成24・25年度)
- 3) 内閣官房「どこでもMY病院構想:腎臓疾患に関するデータセットの策定」に参画
- 4) 腎臓病健診のあり方の検討
- 5) 腎臓病総合レジストリーの構築
- 6) 登録腎生検予後調査(日本透析医学会と合同)
- 7) IgG4 関連腎臓病の研究
- 8) 腎病理標準化の推進
- 9) 各学会との合同委員会による慢性腎臓病など腎疾患の調査・検討
日本糖尿病学会、日本透析医学会、日本人間ドック学会、日本医学放射線学会、日本医師会、日本薬剤師4団体など
- 10) JSN と KDIGO の共催で日本と KDIGO のガイドラインを比較しガイドラインの普及啓発と実行(implementation)に関する検討会を開催

4. 普及・啓発・後援

- 1) 慢性腎臓病(CKD)の予防・診断・治療に関する講演会開催
- 2) 市民公開講座の開催
・平成25年7月28日(日) 北海道留萌市:留萌振興局講堂
- 3) 学生・研修医のための教育セミナー
・平成25年10月5日(土) 東京:グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール
・平成25年10月12日(土) 松山市:松山全日空ホテル
- 4) 臨床研修医のための腎臓セミナー
・平成25年8月10・11日 第17回臨床研修医のための腎臓セミナー
:金沢 エクセルホテル東急、担当責任者 和田隆志(金沢大)
・平成26年3月1・2日 第18回臨床研修医のための腎臓セミナー
:東京 灘尾ホール、担当責任者 深川雅史(東海大)
- 5) 腎臓専門医受験のための教育セミナー
・平成25年5月12日(日) 東京:東京国際フォーラム
- 6) 第9回腎病理夏の学校
・平成25年8月24日(土)・25日(日) 東京:慶應義塾大学
- 7) 世界腎臓デー慢性腎臓病啓発イベント(慢性腎臓病対策協議会後援)
・平成26年3月 キドニーウォーク
・平成26年3月 主要都市での検尿キット配布とキャンペーン
・平成26年3月 「CKDに関する講演会(慢性腎臓病対策協議会主催)」
・平成26年3月 「CKDに関するシンポジウム(厚生労働省主催)」
- 8) 都道府県における「CKD啓発イベント(慢性腎臓病対策協議会主催)」
- 9) 男女共同参画推進に関する活動
・平成25年5月11日(土) 第56回学術総会
「学会活動における男女共同参画～みんなにとってメリットは?～」
・平成25年10月5日 第43回東部学術大会
「テーマ アカデミアにおける男女共同参画推進と女性研究者のキャリア支援」
・平成25年10月12日 第43回西部学術大会

「テーマ 次世代の共同参画」

- 10) 厚生労働省、全腎協全国大会、日本慢性腎臓病対策協議会など各団体への後援
- 11) 「腎不全 治療選択とその実際 2013 年版」の小冊子配布

5. 国際交流

- 1) 第 14 回アジア太平洋腎臓学会(APCN2014)の開催準備中。
- 2) 腎病理国際学会 2015 の開催に向け準備委員会を立ち上げる。
- 3) 日中韓腎カンファレンスは計 6 回開催されているが、ASN 開催中に今後の予定について協議を行い第 57 回学術総会中に開催することとした。
- 4) 第 7 回 AFCKDI 総会が、平成 25 年 8 月 3 日にタイ・パタヤで開催された。日本腎臓学会から平成 25 年度の活動資金の支援を行った。
- 5) ISN と JSN の joint conference について検討し、平成 25 年度第 56 回学術総会の「アジア国際交流のタベ」を拡大して開催した。
また、グローバル連携強化委員会の活動として、第 56 回学術総会「アジア国際交流のタベ」を支援した。
- 6) APSN の CME 活動として、第 57 回学術総会の直前にアジア諸国の関係者を招請することを決定した。
- 7) 雑誌「NEPHROLOGY」への協力と支援を行った。
- 8) 平成 25 年 6 月 5 日～7 日に福岡で開催される国際腎臓学会サテライトシンポジウム(斉藤喬雄会長)の支援を行った。
- 9) 第 8 回国際尿毒症学会および第 7 回国際血液透析学会への支援を行った。
- 10) ISN global outreach(GO)project/sister renal center(SRC)準備・実行委員会を立ち上げ、活動を開始し、2014 年 1 月から開始することで GO program/Sister Renal Center Vietnam-Japan Project が承認された。

6. 褒賞および研究業績の顕彰

- 1) 大島賞の授与
- 2) 優秀論文賞の授与
- 3) 日本腎臓学会奨学プログラムの授与
- 4) 上田賞の授与
- 5) 基礎研究支援プログラムの授与

7. その他の事業

- 1) 平成 25 年 4 月 1 日から「一般社団法人日本腎臓学会」に移行し事業を開始した。
- 2) 腎臓専門医・指導医、研修施設の認定を行った。
- 3) 平成 26 年 2 月 1 日(土) 第 22 回腎臓専門医試験を行った。
- 4) 日本医師会糖尿病対策合同会議に参画し、「糖尿病性腎症」のテーマに取り組んだ。
- 5) 学会主導の学術総会の推進を行っている。
- 6) 腎臓病療養指導士制度の検討を行っている。
- 7) 先行的腎移植を希望する献腎移植の登録システム構築し審査を継続している。
- 8) 診療報酬算定に向け要望書を提出した。
- 9) 一般社団法人移行に伴い電子公告が可能となるため、会員のメール登録を強化・拡充を図った。
- 10) 会費等の納入システムを改善し、郵便局に加えコンビニの利用を可能とした。
- 11) 理事候補者選挙を行った。
- 12) 将来構想検討ワーキングチームが設置され、テーマ別に 6 グループそれぞれの将来構想案をまとめ、さらに、外部講師を招へいするなどして詳細な検討を行うための勉強会を行った。
- 13) 「日本腎臓学会活動サポーターリスト」制度支援委員会が設置され、サポーター制度を発足し、ホームページでサポーター募集を開始した

以上